

大久保通り。「ちがい」が入り混じった通りです。

通り沿いのある教室では、学生たちが長い間、
外国にルーツのある子どもたちと交流を深めてきました。

その反対側にあるルーテル東京教会は、
さまざまなルーツを持つひとの安心の場所になっています。

今回のテーマはヘイト（憎しみ）のむこう側の希望。
ゲストは、学生中心のNPOや牧師&ロックミュージシャン。
ちょっと変わった組み合わせ、だからこそ誰でも大歓迎。

金曜の夜、お酒と一緒に、ゆる〜く聞いてみませんか。

CCS
世界の子どもと
手をつなぐ学生の会



関野和寛さん
牧師&
ロックミュージシャン

ヘイトのとなりに ある希望

>>ちがうってなんだろう

2016.10.21(Fri)

19:00~21:00

open at 18:30

at日本福音ルーテル東京教会
定員40名 参加費1000円(学生500円)

お問い合わせはこちら📞

TEL:03-5941-7948 (平日10:00~17:00)

Email:info@machi-pot.org

まちぽっと

検索

【主催】認定NPO法人まちぽっと、認定NPO法人高木仁三郎市民科学基金、公益社団法人難民起業サポートファンド

【協力】関野和寛さん(ルーテル東京教会牧師、牧師ROCKS)、早坂毅(税理士)、濱口博史(弁護士)、【後援】新宿区社会福祉協議会

About Guests



関野和寛さん

ルーテル東京教会牧師。現在は香港のルーテル神学校ドクターコースに通っている。牧師4人によるロックバンド「牧師ROCKS」のリーダー。



CCS 世界の子どもと手をつなぐ学生の会

1993年設立。外国にルーツをもつ子ども達への学習サポートやエンパワメントを行う学生主体のNGO。都内に5教室ある。

■登壇者からのコメント■

船橋諒さん

大学院で経済学を学んでいます。CCSで3年ほど活動してきました。日々の活動の中で学んだことや感じたことについてお話しさせていただければと思います。



ジェネシス カブコスさん



私はフィリピンで生まれ、2歳からここ日本で育ちました。しかし私の人生はあまり充実してはいませんでした。その原因は「いじめ」でした。その時に私を助けてくれたのは、私の「家族」と今まで出会った「大切な仲間」です。そして「私」を変えまた支えてくれたのが、CCSの先生の方々や教会等で出会った仲間達です。今回、皆さんにも仲間の大切さを考えていただけたら嬉しく思います。

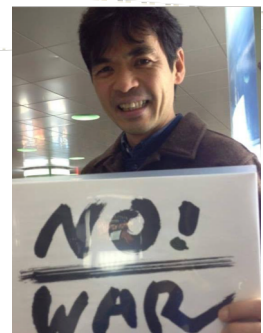
生沼ジェイコブさん

ぼくはフィリピンで生まれ、育ち、2013年3月に妹とともに日本へ来ました。そのときぼくは中学2年生でした。父が、ぼくたち兄妹をCCSなどへ紹介してくれました。受験が1年後に控えていたので、そこでは普段の学校の勉強だけではなく高校進学に向けた受験対策もしました。いまぼくは高校3年生で大学進学に向けて準備しています。

スペシャルゲスト

加藤梅造さん (ライブハウス「ロフト・プロジェクト」)

1997年ロフトプロジェクト入社。日本初のトークライブハウスLOFT/PLUS ONE店長などを務める。2011年からは反原発デモ、反差別行動など様々な市民運動に参加している。



Agenda

Part1. ソロコンサート&トーク by 関野牧師

Part2. 講演「NO HATE! 若者がつくる未来」by CCS船橋さん、ジェネシスさん、生沼さん

Part3. 対談「ヘイトのとなりにある希望」関野さん、CCSの皆さん、スペシャルゲスト加藤さん